



2026年5月15日

各位

会社名 株式会社エアトリ
代表者名 代表取締役社長 兼 CFO 柴田裕亮
(コード番号：6191 東証プライム)
問合せ先 代表取締役社長 兼 CFO 柴田裕亮
(TEL. 03-3431-6193)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年11月14日に公表した2026年9月期(2025年10月1日～2026年9月30日)の通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年9月期 通期 連結業績予想数値の修正 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	1株当たり当期純利益(円 銭)
前回発表予想(A)	34,000	1,000	900	400	17.82
今回修正予想(B)	34,000	1,500	1,400	600	26.34
増減額(B-A)	0	500	500	200	—
増減率(%)	0.00%	50.00%	55.56%	50.00%	—
(ご参考) 前期実績(2025年9月期)	28,104	3,099	3,029	1,779	79.47

2. 修正の理由

連結業績予想の発表(2025年11月14日)以降、当社グループは、2024年9月期より上場後の第3ステージ「エアトリ“次のステージへ”」が継続し、中長期成長戦略「エアトリ5000」を推進しております。国内旅行需要及び海外旅行需要の増減にあわせた戦略的なマーケティング投資の継続、「なんでもエアトリ」をキーワードに新規注力商材のホテル、新幹線、レンタカー、高速バス商材の拡充に向けた投資、UI/UX改善による利便性の向上と各種プロモーションを実施することで収益を拡大するとともに、旅行事業以外の既存事業の成長継続とM&A・資本業務提携等を契機とした更なる事業ポートフォリオの拡充を推進し、エアトリグループは戦略的に「エアトリ経済圏」を構築・強化しています。

外部環境の影響もあり、エアトリ旅行事業におけるさらなる成長鈍化があるものの、エアトリ旅行事業に続く各事業セグメントがそれぞれ好調に推移し、堅調に利益の積み上げを継続しております。2026年9月期の第2四半期の営業利益は2,505百万円となり、前回発表後の業績予想に対して好調な推移となっております。

また、期首時点で既存・新規事業での成長投資や非連続的な成長のためのM&Aや資本業務提携を見込んでの業績予想としていますが、これまでの投資やM&A等の実施状況も踏まえて、通期業績予想の見直しを変更するに至りました。

以上より、2026年9月期の通期の連結業績予想は、営業利益及び各段階利益の増加が見込まれることから、前回公表した業績予想を修正いたしました。

(注) 上記業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報に基づき判断及び仮定を行っており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上